

2021年度 中性子構造生物学研究会
「タンパク質科学・構造生物学と創薬への展開」 開催案内

主催：J-PARC MLF 利用者懇談会

共催：茨城県中性子利用研究会、中性子産業利用推進協議会 生物・生体材料研究会、
総合科学研究機構(CROSS)中性子科学センター

協賛：C B I 研究機構量子構造生命科学研究所

1. 開催日時： 2022年3月15日(火) 13:30~17:00

2. 開催方法： ZOOMによるオンライン開催

3. 参加費： 無料

4. 開催趣旨：

茨城県東海村のJ-PARC(大強度陽子加速器施設)のMLF(物質・生命科学実験施設)では、世界最高強度の中性子およびミュオンビームを用いて、物質科学および生命科学の研究を推進・展開しています。

J-PARC MLF 利用者懇談会の生命物質分科会は、生命科学の推進を目的に中性子構造生物学研究会を開催し、中性子の生命科学への展開を目指しています。

昨年10月のCBI研究機構 量子構造生命科学研究所・中性子産業利用推進協議会 生物・生体材料研究会 合同シンポジウム「生体分子の動的挙動解析への挑戦 試料調製から解析まで」では、沢山の皆さんにご参加いただき、活発な議論が展開されました。

そこで、今回は「タンパク質科学・構造生物学と創薬への展開」と題する研究会を企画しました。10月の合同シンポジウムと同様に沢山の皆さんにご参加いただき、活発な議論が展開されることを期待しています。

5. プログラム：

13:30-13:40 はじめに：佐藤 衛(中性子構造生物学研究会・主査)

司会：杉山 正明(京大・複合研)

13:40-14:25 「クロマチン構造生物学の現状と将来」 胡桃坂 仁志(東大・定量研)

14:25-15:10 「タンパク質の構造予測ツールAlphaFold2の現状と高難度な予測の解決方策」

小野田 浩宜(横浜市立大学・生命医)

15:10-15:20 休憩

司会：佐藤 衛(横浜市立大学・生命医)

15:20-16:05 「次世代抗体工学と創薬への展開」 津本 浩平(東大・工学系研究科)

16:05-16:50 「受容体の構造生物学研究から新しいバイオ医薬の創製へ」

高木 淳一(阪大・蛋白研)

16:50-17:00 おわりに：上村 みどり(生物・生体材料研究会・主査、帝人ファーマ)

6. 申込方法： 以下の申込フォームからお申込み下さい。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScvIU3WT07TdhRY0a1DNB08vqf4h9tJhXchiTsjiKeoN_IK2g/viewform

※ご入力いただいたメールアドレスにお申込み確認のメールが自動的に送信されます。返信が確認できない場合、あるいは、上記申込フォームが利用できない場合には、ご所属、お名前、E-mailアドレスを本文に記して、中性子産業利用推進協議会までE-mail(アドレスは下記)にてお申込みください。

※ZOOMの接続URLは、3月11日頃に参加申込の方にご連絡いたします。

※開催記録としてZOOMの映像を録画いたします。

7. 参加申込締切： 2022年3月10日（木）

8. アンケートのお願い

次回以降の開催の参考とするため、本研究会終了後にアンケートをお願いしています。ご協力をお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScrtdeW4c7Id0eh4iikych_R5P0mAmY7XTJatSUKnp87dCt2w/viewform

<問合せ先> 中性子産業利用推進協議会（略称：IUSNA）

〒319-1106 茨城県東海村白方 162-1 いばらき量子ビーム研究センター D201

TEL：029-352-3934 FAX：029-352-3935（火曜日と木曜日のみ勤務）

E-mail: info@j-neutron.com

以上